



佐保田の丘

奈良教育大学附属中学校通信 (通算六十四号)
二〇二五(令和七)年九月二十九日発行

大阪・関西万博から学んだこと

校長 中川 照久

四月より開催されていた「大阪・関西万博」が十月十三日に終了しました。建設当初より、地盤対策や工事費高騰による参加地域の撤退等、様々な課題を抱えながら、無事開催された「大阪・関西万博」。夢にはたたくさんの人が訪れ、大変なにぎわいでした。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、環境・医療・エネルギー・食など、未来の暮らしを支える技術やアイデアが世界中から紹介され、より良い社会を目指す人々が集まりました。世界は、地球温暖化や気候変動、エネルギーの問題、戦争や貧困、格差、そして人口減少や高齢化など、未来に向けた大きな転換点に立っています。こうした課題に立ち向かうために、国連では「SDGs（持続可能な開発目標）」が掲げられています。そして、そのSDGsを実現していくために欠かせないのが、皆さん一人ひとりの「学び」と「行動」です。附中が取り組むESDは、未来の社会をより良くするために、自分たちがどのような考え、行動していくかを学ぶ教育です。「大阪・関西万博」は、ESDの理念と深く関わっています。たとえば、「リサイクルの仕組みを見学すること」「ごみ問題」や「資源の使い方」について考えたり、伝統的な工芸や地域文化に触れることで「地域の価値」や「多様性」について学んだり。そこには教科書だけでは学べない「リアルな社会」が広がっています。

皆さんには「大阪・関西万博」で学んだことを「自分のこと」として捉え、「これからの社会にどう関わっていくか」を想像し、形にしようとする力を身に付けてください。その力は、これからの時代に欠かせない力となります。AIや技術が進歩する中で、人間にしかできない「気づく力」「つなぐ力」「変える力」を、「大阪・関西万博」が終了した後も、学習を通じて育てていってほしいと思います。

附中では、普段の授業や総合的な学習の時間、学校行事の中で、ESDの視点を取り入れた活動を進めています。環境問題について調べたり、地域の方々と協力してイベントを企画したりすることも、すべて「持続可能な社会」づくりの一歩になります。未来を変える力は、決して大人だけが持っているものではありません。皆さん自身が「どう生きていくか」「どんな社会にしたいか」を考え、小さな行動を起こしていくことが、未来への大きな力になります。「気づく力」「つなぐ力」「変える力」の三つの力を大切にしながら、私たち一人ひとりが未来の主役として、ESDの学びを日々の生活の中に生かしていきたいと思います。

「附中アースデイ」

今年も二学期に入ってから連日のように猛暑日が続く、最近になってようやく朝晩を中心に秋を感じられるようになってきました。

これまでは「仲秋の名月」など、春夏秋冬、四季それぞれの良さを感じ、愉しむことが普通にできていましたが、気候変動のせいなのか、心配が増すばかりです。

そのような中、附中では九月六日、昨年度に引き続き、二回目となる附中アースデイが開催されました。「アースデイ」の歴史は今から五十五年前の一九七〇年まで遡ります。アメリカ合衆国のネルソン上院議員が環境問題を考える日として四月二十二日を「アースデイ(地球の日)」として宣言したことから始まり、現在では百を超える国々でアースデイイベントが開催されているそうです。「四月二十二日じゃないのに大丈夫？」とツツコミが入りそうですが、それもその四月二十二日という日も、あえて「なんでもない日」を選んだそうなので、日付が大事というよりも、「自分たちが暮らす地球」のことを「つながり」としてとらえ直し、行動するきっかけとなれば良いようです。「アースデイ奈良」「アースデイ京都」など地域単位でのイベントは耳にしませんが、学校単位で「アースデイ」を企画運営しているのは珍しい試みで、附中らしさが出ていますね。

アースデイは多くの人々が参加できる開かれた場として、学外の方々にもさまざまな面で協力いただき、当日は多くの来場者をお迎えすることができました。ありがとうございました。

当日のゴミ処理など、まだまだ改善の余地はありますが、今後「地球に暮らす一人」として、広い視点でものごとを捉え、豊かな社会づくりの創り手に育ってほしいことを願っています。

なお、学校での日常のようすは、学校ホームページ内のブログ「附中の小窓」やインスタに随時、掲載していきますので、ご覧ください。



主幹教諭 吉田 寛



附中の小窓



《今後の主な予定》

※予定は変更される可能性があります。

※11月4日 授業参観のご案内が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

- 10月
 - 1日 後期時間割開始 午後・生徒会選挙(意見発表会)
 - 附中入試・公示・願書交付 (特別支援学級)身体測定
 - 4日 英検 準会場 団体受験日
 - 9日 全学年 中間テスト(10日)
 - 10日 いじめアンケート
 - 15日 1・2年 合同奈良めぐり
 - 18日 オープンスクール(20日代休)
 - 23日 午後・学校保健委員会講演会
 - 24日 3年 卒業研究発表会(全学年の生徒対象)
 - 27日 3年 3限授業 (特別支援学級)防災 避難学習
 - 28日 3年 3限授業 (特支・奈良市5ブロック校外学習)
 - 29日 午後・生徒会 認証式・生徒総会
 - 30日 3年 進路説明会(16時~3年保護者対象)
 - 31日 1・2年 合同奈良めぐり 事後発表会(1・2年生徒対象)
 - 11月
 - 4日 1・2年 学力診断テスト③ (特別支援学級)公開研修会
 - 6日 3年 進路懇談①(午後) 3年 3限授業 (特別支援学級)入級選考(5組生徒は家庭学習)
 - 7日 3年 進路懇談②(午後) 3年 3限授業 (特別支援学級)入級選考(5組生徒は家庭学習)
 - 8日 午前:総合公開研修会(10日代休)
 - 11日 3年 進路懇談③(午後) 3年 3限授業 午後:1年生と5組の交流会①(1年1組と全5組) 防犯訓練(6限)
 - 12日 (特別支援学級)合格発表
 - 13日 1年 社会見学(国立民族学博物館)
 - 14日 (特別支援学級)日曜参観(17日代休)
 - 16日 3年 期末テスト(21日)
 - 19日 教育後援会 秋の見学会
 - 20日 1・2年 期末テスト(27日)
 - 25日 採点評価作業日(家庭学習日)
 - 28日 12月
 - 1日 1年 薬物乱用防止教室(午後)
 - 2日 3年 社会見学(京都)
 - 4日 3年 球技大会 (特別支援学級)マラソン大会
 - 8日 午後:1年生と5組の交流会②(1年2組と全5組)
 - 9日 3年(家庭科)こども園交流(高畑に登校)
 - 10日 全学年 人権学習
 - 11日 1年 黒髪山活動(4限~6限)
 - 12日 3年 3限授業(12日午後・15日午後)
 - 16日 (特別支援学級)個人懇談(16日午後・18日午後・19日午後)
 - 17日 (特別支援学級)11時下校
 - 22日 2学期期末懇談(17日午後・18日全日・19日全日)
 - 2学期終業式・大掃除 冬季休業(12月23日~1月7日)